



学校だより



青梅市立東小中学校
令和3年度 第2号
5月19日(水)

頑張る東小中の子ども達の

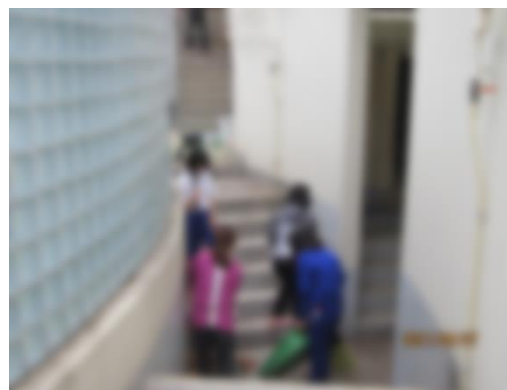
健やかな成長を願い、頑張りましょう

校長 川窪 公夫

五月晴れの下、グラウンドポールに掲げられた鯉のぼりが元気よく泳ぎ、爽やかな季節の到来を告げてくれました。また、学園正面ロータリーでは、「わんぱくクラブ」の時間に、小学生が作った可愛(かわい)らしい手作り鯉のぼりも見ることができました。子ども達の健(すこ)やかな成長を願い掲げられる鯉のぼりに、改めて日本の伝統文化の温かさを感じました。



さて、5月7日(金)の午後、子ども達と学園の先生方とともにプール清掃をさせていただきました。点呼場に集合し、高橋先生から「ふざけないこと。マスクを着用し、勝手な会話をしないこと。」など無事故で終えるための注意事項を聞き作業を開始しました。プール以外にもギャラ



リーや玄関回りをはじめたくさんの割り当て箇所がありました。どの箇所の子も達も注意事項を守り、黙々と一生懸命に清掃に取り組んでいました。自分の責任を果たす皆さんの姿は立派です。全員の頑張りで予定よりも少し早く、とてもきれいになりました。特に、感謝したいのは、午前中から準備をしてくれていた高等部の皆さんです。夏も少しずつ迫って来ました。広く素晴らしいプールで水泳ができることに感謝し、プール開きを待ちましょう。

小学生遠足

春の青梅丘陵ハイキングコースを往(ゆ)く

4月27日(木)、約7kmに及ぶ青梅丘陵(二俣尾駅～青梅駅コース)を踏破(とうは=厳しい道を歩き切ること)して来ました。子ども達の日頃の行いの良さで、絶好のハイキング日和(ひより)となりました。途中、アップダウンの厳しい所もありますが、小鳥のさえずりを耳にしなが、木立(こだち)の中、自然をゆったりと感じながら歩きました。枝間の富士(えだまのふじ)の看板を見つけときは、「富士山、どこ?見える?」と楽しそうにしている姿が印象に残りました。そして、この遠足中の課題である俳句づくりにもチャレンジしました。歩きながら考えた俳句を少し照れながら先生方の前で発表する姿が微笑(ほほえ)ましかったです。昼食では、ボリューム・栄養とも満点の美味しいお弁当をいただきました。早朝より、作っていただいた学園調理室の皆様(みなさま)の真心に感謝いたします。最後にハイキングのゴールである青梅駅北側の永山公園で遊具を使ったり、縄跳びをして、楽しく遊びました。子ども達は、電車内や歩行中も目的であるルールやマナーを守り、しっかりと集団行動に取り組むことができました。有意義な一日となりました。ありがとうございました。



竹の子

小学校 深沢 孝之

竹の子のような人になってもらいたい。竹は地面にしっかりと根を張り、空に向かってグングン成長していく。そして、しなやかでちょっとやさつとのことでなかなか折れない。こんな人になってもらいたい。

目の前のことにしっかり向き合いコツコツと努力を積み重ねよう。空に向かってグングン成長していくように。君たちの成長を全力で応援します。



変化のチャンス

中学校 1年 田實 洋介

小学校から中学校という大きな変化。これは自分を変える絶好のチャンスです。最初に頑張ろうと決意した思いを忘れず、「泥中の蓮」のように、意思を強く持って生活していきましょう。まずは「素直に話す」「切替をしっかりと」「ルールを守る」の3点を意識して、社会で通用する土台作りをしていきましょう。気持ちの良い返事・挨拶も忘れずに。



学校の中核として

中学校 2年 山田 浩樹

学校は小さな社会です。そこでは個人の意思が常に通るわけではありません。場に即した言葉を発したり、行動が取れたりするようにしていきましょう。それを社会性といいます。また学習面もしっかりやっていきましょう。寮での自学自習を「習慣」とし、一段と成長できる二年生にしていきましょう。



明るい将来のために

中学校 3年 長谷川 まゆみ

「卒業式までカウントダウンするような生活は、しない。」

「卒業・退園は、ゴールではなく、新たな人生のスタートだ。」

「互いに伝え合って、わかり合おう。」
ここを出た後、ここで付けた力が、本当に自分のものになっているかが問われます。
明るい将来のため、今、共に頑張ろう。

